

終わりに

## 「街」づくりという社会貢献と責任



小田 理一郎

ジャパン・フォー・サステナビリティ  
シニア・マネジャー

法学士(都市再開発分野)、経営学修士(多国籍企業経営専攻)。多国籍企業で組織改革実務にあたり、その後非営利組織のマネジメント支援のために独立。研究分野は、マネジメント、システム思考、持続可能な開発など。共著『海外環境報告書に学ぶ』(日経エコロジー)など。

社長はじめ経営陣全員とのインタビューとショッピングセンター(SC)実地訪問を行い、イオンモール(株)の社会的責任活動についての評価を行うとともに、サステナビリティ・レポートの企画・編集に関するアドバイスを行いました。

イオンモールの特徴的な社会貢献のモデルは、SC開設を街づくりと位置づけ、地方において新しい商業集積によって地域の活性化を図っていることです。地域活性化を求めるコミュニティ側のニーズを受けて、モノとサービスの流通を行い、雇用、ビジネス、税金とさらなる経済波及効果を地域にもたらします。いわば、本業を通じての社会貢献です。

経済的な発展は、われわれの生活に必要な一側面です。人々の幸せにつながる価値を創出し、社会に公正に分配することは企業にとってもっとも本質的な社会貢献です。価値の分配に着目すると、グローバル資本によくある経済モデルでは、利益や労働、サービスの多くが地域外に流出し、地域内にとどまる経済波及効果は小さくなります。一方、地域内雇用や購買を行い、地元のビジネスに機会を与えることは、給与や収益、税金、預貯金から新しいビジネスへの投資も生まれた、多層的な地域内経済循環を可能にします。イオンモールではSCの出店店舗の3割を地元企業にする方針をもち、雇用の約7~8割が地元からとなっています。また出店時の地元との協議などにより、出店の悪影響を最低限に抑えることに取り組んでいます。こういった地域貢献のための取り組みの継続、強化を期待します。

また、物質に依存した経済を脱却する方向性も重要です。イオンモールでは、サービス業の比重を高めるとともに、SC内での行政、金融、福祉などの社会サービス機能の拡充に努めていて、この点を評価します。一方、文化発信の基地としての役割もありますが、この点ではSCの発信する文化がやや画一的な印象があります。地域の特徴がもっと出る多様な街づくりを期待しています。

社会貢献という点で注目したのは、環境、福祉、災害支援のためのキャンペーンや募金活動の実施に積極的に取り組んでいることです。SCの専門店でも募金箱の設置方法やアピールの工夫を行っていました。多くの人が集まるSCにおいて、環境や社会へのメッセージを発信し、参加を呼びかけることの効果は大きいでしょう。

人の交流という点でも、それぞれのSC単位で地域貢献活動が始まっています。地域との交流は多ければ多いほど、密であれば密であるほど、信頼という社会資本につながり、また信頼は更なる交流を生み出します。地域の一員としての活動を今後より一層強化していくことを期待します。

従業員に関する活動は、今回がはじめての報告になります。SCという小売を中心とした街づくり事業において、社会的使命としての小売の組織風土をいかに継承するか、女性や障害者、高齢者の視点などの多様性をいかに取り入れるかが今後の課題になります。

環境に関しては、電気・水・紙・廃棄物に関するマネジメントシステムがしっかりと回っています。また、廃棄物ではテナント店舗を巻き込んだ活動を展開しており、環境教育にも熱心です。一方、SCは全国に急ピッチで開設していますので、事業全体の与える環境負荷の総量も増えていきます。SCはひとたび建設されると何十年という単位で運営されます。原単位の測定を始めようとしているところですが、環境効率に関してのより先進的な、抜本的な取り組みの強化を強く要望します。環境会計もより管理会計的目的で活用できるように。また、建設時の環境負荷の計測・報告を望みます。

総じて、経済・社会・環境のそれぞれの分野で社会的責任を果たす活動に取り組み、このレポートで進捗を情報開示していることを評価します。今後、持続可能な社会の形成に向けて、さらに高いレベルでの目標設定と環境・社会面の事業活動との統合、企業統治の強化に取り組むことを期待しています。



## イオンモールは 2012年・50SC体制をめざします。



『2005 イオンモール サステナビリティレポート 未来への報告書』の内容  
についてのご質問・ご意見は下記へお寄せください。

# イオンモール株式会社

環境・社会貢献・ISO事務局  
〒261-8539

千葉県美浜区中瀬1丁目5番地1 イオンタワービル7階  
TEL 043-212-6476 FAX 043-212-6736

当報告書の詳細をご覧ください。  
イオンモールホームページ  
<http://www.aeon-mall.net>



### イオンモールのあゆみ

1911年	11月	会社設立
1973年	8月	損害保険代理店事業開始
1974年	12月	アメリカンファミリー生命保険(株)の代理店として 生命保険代理店事業開始
1978年	8月	ジャスコパーク株式会社、 酒田ショッピングセンター株式会社合併
1989年	9月 10月	資本金40億に増資 イオン興産株式会社に社名変更、新たに大規模 ショッピングセンター開発・運営のダイベロツパー事業開始
1992年	11月	イオン柏SC開店
1993年	2月 9月	下田タウン株式会社(イオン下田SCダイベロツパー)設立 イオン秋田SC開店 イオン富津SC開店
1994年	6月	ハートビル法施行
1995年	4月	イオン下田SC開店
1996年	11月 12月	イオン鈴鹿SC開店 イオン三光SC開店
1999年	9月	イオン倉敷SC開店
2000年	3月 6月 9月 12月	イオン成田SC開店 大店立地法施行 イオン岡崎SC開店 イオン高知SC開店
2001年	4月 6月	環境マネジメントシステム国際規格ISO14001認証取得 (マルチサイト一括方式) イオンモール株式会社に社名変更
イオン新居浜SC	開店 7月 12月	イオン東浦SC開店 イオン大和SC開店
2002年	7月 9月	株式上市(東証一部)、資本金60億6500万円に増資 イオン高岡SC開店 第14回日食・環境資源協力賞受賞 下田タウン株式会社が「2002年度バリアフリー化推進功労者」 として内閣総理大臣表彰を受賞
2003年	8月 12月	イオン盛岡SC開店 イオン太田SC開店
2004年	8月 11月	イオン浜松志都呂SC開店 イオンりんくう泉南SC開店